新米の季節。芳賀町は県内屈指の米どころ

～一年中、土の幸に恵まれた町

芳賀町は、県内屈指の米どころ。今年も新米の季節を迎えました。水利に恵まれた町内には約3,000ヘクタールの水田が広がり、毎年11,700トンもの米が生産されています。近年は、農薬や化学肥料をできる限り減らした特別栽培の米づくりが盛んに行われるようになりました。

12月に入ると、いちごが旬を迎えます。甘く果実の大きなとちおとめをはじめ県を代表する各種の品種が栽培されており、生産者・生産面積は年々拡大傾向にあります。最近は果実の生食やいちご狩りだけでなく、加工品なども販売されるようになりました。

また梨も芳賀町を代表する生産品で、県内でも有数の産地となっています。8月中旬から10月下旬にかけては、幸水・豊水・新高・にっこりなどの品種が順に収穫期を迎えます。また町では県のオリジナル品種・にっこりの栽培奨励に力を入れており、将来的には「にっこり生産量日本一」を目指しています（現在は宇都宮市に次ぐ2位）。

▲町内の梨園

●芳賀いちご園

道の駅はがに隣接し、いちご狩りが楽しめる施設（12月上旬～5月中旬：要予約）。新品種のスカイベリーや県内特産で酸味が少なく大粒のとちひめの2品種を栽培しています。

ゆるキャラ　はがまるくん

はがまるくん

芳賀町のマスコットキャラクター・はがまるくんは、芳賀町の特産品である大きな梨の頭巾に稲穂の刀、いちごの飾りを身に着けた元気な男の子です。将来の夢は、野山を駆け回り平和を守るニンジャヒーローになることです。町の鳥であるヒバリの相棒「ひばりん」と一緒に、町の美味しい物や見どころを皆さんに知ってもらうために頑張っています。

県内探訪

個性豊かな県内の各市町をご紹介しているこのページ。今回は、芳賀町をご紹介します。

芳賀町

～都市基盤の整備や町民の安全・安心な暮らしの実現に取り組みます

芳賀町は県の南東部、宇都宮市に隣接する緑豊かな町です。

もともと芳賀町は、豊かな自然を背景とした米作やいちご・梨などの果樹栽培を中心とした都市近郊型農業が盛んでした。その一方では、芳賀工業団地や芳賀・高根沢工業団地が整備されて技術集約型の企業や研究所が進出するなど、産業振興の面ではバランスのとれた発展をとげてきました。

町では現在、宇都宮市と共同で次世代型路面電車ＬＲＴの整備を進めています。ＪＲ宇都宮駅東口から芳賀の工業団地までを結ぶ総延長14.6ｋｍの路線で、2022年の開業を目指しています。また、工業団地の隣接地区には「芳賀第２工業団地」の造成を進めており、造成後の工業団地の総面積は389ヘクタールとなります。ＬＲＴにより町に新しい人の流れをつくり、産業、経済活動の活性化や定住人口・交流人口の増加など、町の魅力向上につなげます。さらに、町民の安全・安心な暮らしにつながる防災・減災や交通安全の取り組みを強化していきます。

「躍動する芳賀の町　未来につなげよう」をキーワードにさまざまな取り組みを進めます。

▲次世代型路面電車システム「ＬＲＴ」

芳賀町の見どころ

●道の駅はが・ロマンの湯

県内10番目に認定された道の駅で、ふるさと交流体験センター・友遊はがと、天然温泉・芳賀温泉ロマンの湯の2施設から構成されています。地元産のとちおとめを使用したおとめジェラート（季節限定）などが人気です。

▲ロマンの湯

●ロマンの碑

町に縁の明治の天才画家・青木繁を記念して、五行川のほとりに作られた碑と庭園。絵筆・パレットをもつ青木繁と福田たね、二人の息子の幸彦を描いています。

▲願掛け撫で牛

●天満宮

鎌倉時代（1233年）の創建で、学問の神様・菅原道真公を祀る古社。寺子屋風景を描いた大絵馬や、平成21年に奉納された願掛け撫で牛が有名です。毎年11月23日には秋季大祭が開催されます。

●唐桶の溜

農地灌漑のため、1709年に豪農・岡田宗山が築いた用水溜。現在、周囲は唐桶宗山公園として整備され、園内にはその偉業を称えた導水遺跡碑が建てられています。平成22年には「ため池百選」に選ばれました。

▲導水遺跡碑

●芳賀町総合情報館（知恵の環館）

図書館・博物館・文書館の機能を併せ持つ複合施設で、「知恵の環館」の名は発信される知恵や情報が町に循環するようにとの願いを込めてつけられました。ステンドグラス作家の故・菊池健一氏が、青木繁の作品をもとに制作したステンドグラスも見どころです。

ステンドグラス▲

NEWS　芳賀町総合情報館で魯山人展を開催

若くして書家、篆刻家として名をなし、その後、絵画、陶芸など美にまつわる幅広い分野で独自の才能を発揮した北大路魯山人。現在、芳賀町総合情報館では、魯山人の作品の展示や魯山人設計の茶室「夢境庵」を部分再現した企画展「魯山人の宇宙」を開催中です（観覧無料／12月8日まで）。没後60年を経た今、奥深い魯山人の芸術世界を振り返ってはいかがでしょうか。

profile　芳賀町

祖母井町・南高根沢村・水橋村の1町・2村の合併で芳賀町が誕生したのは、昭和29年（1954年）のこと。以後、周辺の市・町との境界線の調整はありましたが、ほぼ当時のままの形で今に至っています。町は県の南東部、五行川・野元川の周囲に広がる平野部に位置し、町内には豊かな水田や果樹園が広がります。また工業団地の整備も進むなど、バランスの取れた開発が進んでいます。

▶面積：70.16平方km　▶人口：15,703人（5,565世帯）

〔令和元年9月末現在〕